

花びらの雨

- (1) バレンタインデーの前日の水曜日、ロンドンのある幹線道路を車で走っていた人々が、うれしい驚きの声を上げたのは、ピンクと赤の花びらが風で飛び始めたときだった。
- (2) その出来事は朝早く起きたのだが、それは強い突風によって、おおいのない配達用トラックの後に積まれていたたくさんのお花から花びらが引きちぎられたのだった。
- (3) その車を運転していた 22 歳の大学生で、彼は最も忙しい休日の一日の務めを果たすために、生きのいいお花を多くの店に配達しているところだった。
- (4) その幹線道路を飛ばしていると、彼は配達が間に合いそうにないことに気づいたので、車のスピードを上げ始めた。
- (5) スピードが増し風も激しくなると、お花は休むことなく風になびき、とうとう花びらが引きちぎられ、空中にひらひらと舞って道路中に散らばった。
- (6) 彼はすぐに車を止めてできるだけたくさんのお花を取り戻そうとした。
- (7) あいにく半分も使い物にならなかった。
- (8) そのドライバーの上司は起きたことについてとても同情してくれたが、時間をきちんと守っても無傷のものが注文品の半分しかなくなってしまう（→注文品の半分もだめになってしまう）くらいなら、遅れても全部のお花を送り届けるようにしなさいと彼に言った。